

広報 すぎなみ

Suginami



みどり豊かな 住まいのみやこ

5/1
令和4年(2022年)
No.2328

今号は区内全世帯に
配布しています

区の広報紙「広報すぎなみ」は、主に新聞折り込み
でお届けしていますが、5月1日号は新聞購読の
有無にかかわらず区内全世帯に配布しています。
※全世帯配布は5月1日号のみです。次号以降は通
常通り新聞折り込みでの配布予定です。

図配布に関する問い合わせは、コールセンター☎
5389-0787 (5月13日までの午前9時～午後5時
(5月7日・8日を除く))、区広報課 図委託事業者
=フットワークス

特集

すぎなみのまちづくりの今とこれから Vol.1 ～荻窪、阿佐谷、方南・和泉地域



〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> 発行: 杉並区 編集: 広報課

お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が変更・延期または中止になる場合があります。
最新情報は、区ホームページまたは区(地震・水防情報等)ツイッターをご確認ください。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



すぎなみの

5月1日号・6月1日号 2カ月連続企画

まちづくりの今とこれから Vol.1

～荻窪、阿佐谷、方南・和泉地域

区では、まちづくり基本方針(※)に基づき、道路・公園・鉄道などの基盤整備やみどりの保全と創出、地域の個性を生かした駅周辺のまちづくりなど、さまざまな取り組みを進めてきました。

まちづくり基本方針では、区を7地域に分け、それぞれの個性を生かした「まちづくりの方向性」を示しています。今号と6月1日号では、各地域で現在進行中の主なまちづくり事業をご紹介します。



※まちづくり基本方針=区の将来の都市のイメージとまちづくりの目標を明らかにするもの。基本構想に基づいて策定しており、今年度改定予定。

まちづくり基本方針▲

——問い合わせは、都市整備部管理課へ。

地域別のまちづくり事業

荻窪地域

- (仮称) 荻外荘公園の整備
- 荻窪駅周辺まちづくり
- 生活道路の無電柱化

井草・西荻・高円寺・高井戸地域
こちらの地域は6月1日号で紹介!



阿佐谷地域

- 阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり
- 不燃化特区の指定
- 都市計画道路の整備(補助第133号線)

方南・和泉地域

- 下高井戸おおぞら公園東側の整備(下高井戸調節池の整備)
- 不燃化特区の指定

CHECK ① 公園整備

荻窪地域

(仮称) 荻外荘公園の整備



荻外荘復原イメージ

「荻外荘」は、昭和戦前期に内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の旧宅で、築地本願寺などを手がけた日本を代表する建築家・伊東忠太設計による現存する数少ない邸宅建築です。「荻外荘」の建つ地は、組閣や重要な政治会談の舞台となった場所として、平成28年3月に国の史跡に指定されました。建築的にも歴史的にも価値ある「荻外荘」を復原して整備する史跡公園が、令和6年12月に開園予定です。

方南・和泉地域

下高井戸おおぞら公園東側の整備



完成イメージ

下高井戸おおぞら公園は平成29年に西側エリアが開園し、現在は東側エリアで東京都により河川の洪水対策として地下調節池工事が行われています。今後は、地下調節池の進捗状況を踏まえつつ、令和7年度の全面開園に向けて整備を進めていきます。なお、東側エリアには、多目的スポーツコート(人工芝)やマンホールトイレ等を整備するとともに、神田川を挟んで位置している永福南公園との回遊性や利便性を向上させるため、両公園を結ぶ橋を設置します。

阿佐谷地域

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり

阿佐ヶ谷駅北東地区では、まちの将来像を「**防災性・安全性の向上と、駅前にふさわしい都市機能の強化、みどりや住環境と調和したまちづくり**」と定め、建築物を建築するときのルールとなる地区計画を策定しました。

また、けやき屋敷として親しまれてきた場所の土地の所有者・総合病院・区の3者が「土地区画整理事業※」という方法で、道路の拡幅や区画の整備を行い、現在より広い学校敷地の確保、災害時のオープンスペースの創出などの取り組みを進めています。

さらに今後、施設や道路、緑地等の整備に合わせて、区民や事業者等と連携(公民連携)しながら、良好な環境や地域の価値を維持・向上させる取り組みを進めていきます。

※道路の拡幅などを行い、土地の形や大きさを使いやすく整えるまちづくりの手法。



現在



POINT!

駅前らしいにぎわいや歩いて楽しいまち

産業振興や地域商店街などの活性化につながる歩いて楽しいまちを目指します。



学校跡地
・既存小学校解体：令和10年度
・学校跡地活用の検討：令和5年度～

中杉通り

杉一馬橋公園通り

NEW
杉並第一小学校

既存病院解体：令和7年度
学校建築工事：令和8・9年度(令和10年度開校)

NEW
総合病院

総合病院建築工事：令和4～6年度

道路拡幅
歩道状空地
緑地

新進会商店街

POINT!

みどりを保全・創出し景観と調和したまち

けやき屋敷の屋敷林の一部を緑地として保全します。また、各敷地の道路側にも緑地を設け、みどりを創出します。

至狭窪 阿佐ヶ谷駅

JR中央線・総武線

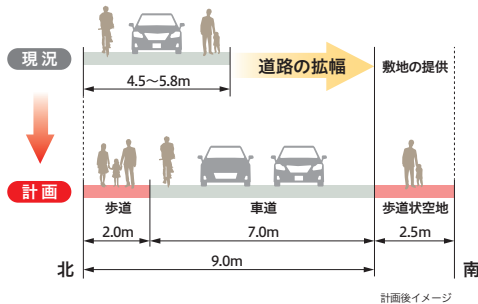
至高円寺

CHECK② 駅周辺まちづくり

POINT!

地域の防災性・安全性が向上するまち

杉一馬橋公園通りの道路を拡幅し、歩行者の安全性の向上を図るとともに、相互通行化することで災害時の避難路の確保や周辺地域の消防活動の円滑化を図ります。



整備後の姿

※図はイメージ、スケジュールは予定です。

Q けやき屋敷のみどりはどうなるの？

けやき屋敷のみどりは、個人の持ち物で、所有者の方の長年のご努力とご負担によって維持されてきたものです。総合病院が移転した後も将来にわたってできるだけみどりを残すために、現在、所有者・総合病院などのご努力とご負担で移植等を行っています。

Q 総合病院や学校跡地の建物はどうなるの？

この地区では、まちの将来像の実現のため、地区計画等で建物の大きさ(容積率)や高さの制限、道路の拡幅、みどりの保全・創出、歩道の確保などについてルールを設けました。2つの建物共にこうしたルールに基づいて各所有者が建築していきます。

土地区画整理事業の施行者の利益のためにルールを定めたのではないかとという声がありました。決してそのようなことはありません。